

動物用メトロ注10「KS」

【成分及び分量】

本品1 mL中

有効成分	含 量
塩酸メトロプラミド	10 mg

【効能又は効果】

牛：前胃弛緩症、第一胃食滞、鼓脹症、急性第一胃拡張症、胃炎・腸炎・胃カタル等による食欲不振

【用法及び用量】

体重1 kg当たり塩酸メトロプラミドとして下記量を1回量として1日1～2回静脈内、筋肉内又は皮下に注射する。

牛：0.1～0.4 mg（本品として0.01～0.04 mL）

【使用上の注意】

（基本的事項）

1. 守らなければならないこと

（一般的注意）

- 本剤は、効能・効果において定められた目的にのみ使用すること。
- 本剤は、定められた用法・用量を厳守すること。
- 本剤の使用に当たっては、適応症の治療に必要な最小限の期間の投与に止めること。
- 本剤は、獣医師の指導の下で使用すること。
- 本剤は、「使用基準」の定めるところにより使用すること。

注意：本剤は、医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律第83条の4の規定に基づき上記の用法及び用量を含めて使用者が遵守すべき基準が定められた動物用医薬品ですので、使用対象動物（牛）について上記の用法及び用量並びに次の使用禁止期間を遵守してください。

牛：食用に供するために殺する前1日間又は食用に供するために搾乳する前48時間

（牛に関する注意）

- 幼若動物、小動物では過量投与にならないように注意すること。

（取扱い及び廃棄のための注意）

- 使用期限が過ぎたものは使用しないこと。
- 変色が認められた場合には使用しないこと。
- 小児の手の届かないところに保管すること。
- 本剤の保管は直射日光及び高温を避けること。
- 注射器具は滅菌又は煮沸消毒されたものを使用すること。薬剤により消毒をした器具又は他の薬剤に使用した器具は使用しないこと（ガス滅菌によるものを除く。）。なお、乾熱、高圧蒸気滅菌又は煮沸消毒等を行った場合は、室温まで冷えたものを使用すること。
- 誤用を避け、品質を保持するため、他の容器に入れかえないこと。
- 使用済みの容器は、地方公共団体条例等に従い処分すること。
- 本剤を廃棄する際は、環境や水系を汚染しないように注意し、地方公共団体条例等に従い処分すること。

- 使用済みの注射針は、針回収用の専用容器に入れること。針回収用の容器の廃棄は、産業廃棄物収集運搬業及び産業廃棄物処分業の許可を有した業者に委託すること。

2. 使用に際して気を付けること

（使用者に対する注意）

- 誤って注射された者は、直ちに医師の診察を受けること。

（牛に関する注意）

- 副作用が認められた場合には、速やかに獣医師の診察を受けること。
- 本剤を静脈内注射する場合は、速度が速すぎると、まれに振せん又は嘔吐する場合があるので、注射速度はできるだけ遅くすること。

（取扱い上の注意）

- 開封後は、速やかに使用すること。
- 本剤は、アルカリ性溶液と混合すると混濁を生じることがあるので、混合を避けること。
- 寒冷時に大量投与する場合には、本剤を体温程度に温めること。

（専門的事項）

①重要な基本的注意

- 急性鼓脹症の重篤な場合や創傷性胃炎及び消化管の捻転が疑われる場合は、適切な処置を施した後に投与すること。

②副作用

- 本剤の投与により、まれに流涎、不穏状態、四肢あるいは頭部の振せん、運動失調の症状が現れることがある。このような症状が現れた場合には投与を中止すること。症状は通常数時間以内に回復する。

③その他の注意

- 本剤の有効成分メトロプラミドには、in vitroにおける試験で変異原性が認められたとする文献報告がある。

【薬理学的情報等】

（薬物動態）

- 牛に本剤を塩酸メトロプラミドとして0.4 mg/kg単回筋肉内注射した場合、メトロプラミドの最大血中濃度到達時間（ t_{max} ）は5～15分間、最大血中濃度（ C_{max} ）は56.0 ng/mL、血中濃度 - 時間曲線下面積（ AUC_4 ）は71.3 ng・hr/mLであった。
- 牛に本剤を塩酸メトロプラミドとして0.4 mg/kg単回皮下注射した場合、メトロプラミドの最大血中濃度到達時間（ t_{max} ）は15～60分間、最大血中濃度（ C_{max} ）は52.7 ng/mL、血中濃度 - 時間曲線下面積（ AUC_4 ）は77.7 ng・hr/mLであった。

（薬効薬理）

- メトロプラミドは化学受容体引き金帯（CTZ）のドパミン D_2 受容体を遮断することにより制吐作用を示す。更に、セロトニン5-HT $_2$ 受容体遮断作用や5-HT $_4$ 受容体刺激作用による消化管運動促進作用も示唆されている。

【包装】

10 mL×10/バイアル

【製品情報お問い合わせ先】

共立製薬株式会社 学術

〒102-0073

東京都千代田区九段北一丁目11番5号

TEL：03-3264-7559

製造販売業者



共立製薬株式会社

東京都千代田区九段南 1-6-5

獣医師、薬剤師等の医薬関係者は、本剤による副作用などによると疑われる疾病、障害若しくは死亡の発生又は本剤の使用によるものと疑われる感染症の発生に関する事項を知った場合において、保健衛生上の危害の発生又は拡大を防止するため必要があると認めるときは、上記【製品情報お問い合わせ先】に連絡するとともに、農林水産省動物医薬品検査所（<https://www.maff.go.jp/nval/iyakutou/fukusayo/sousa/index.html>）にも報告をお願いします。